

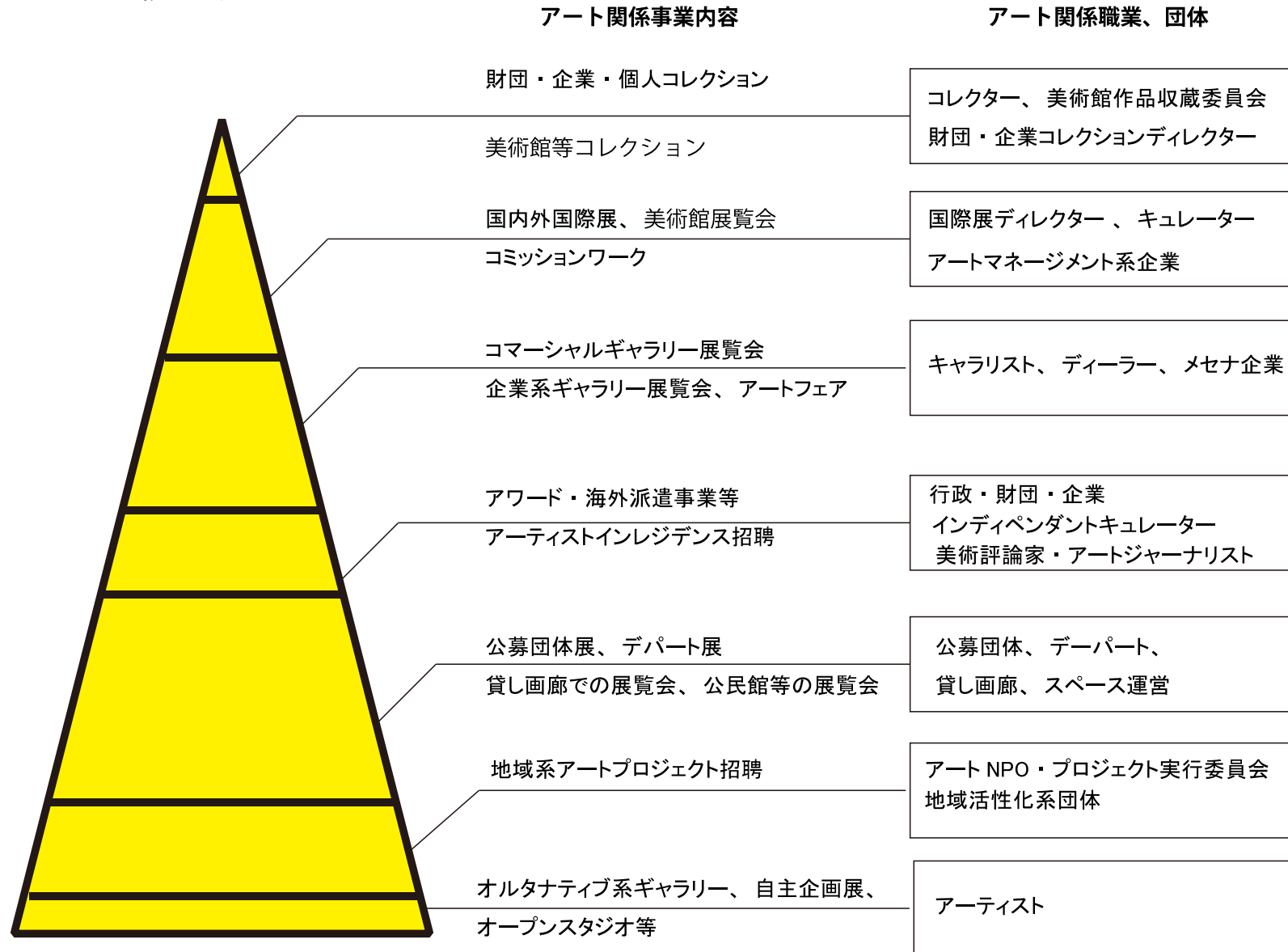
アート×産業×コミュニティ 街が創造的になる場の創出

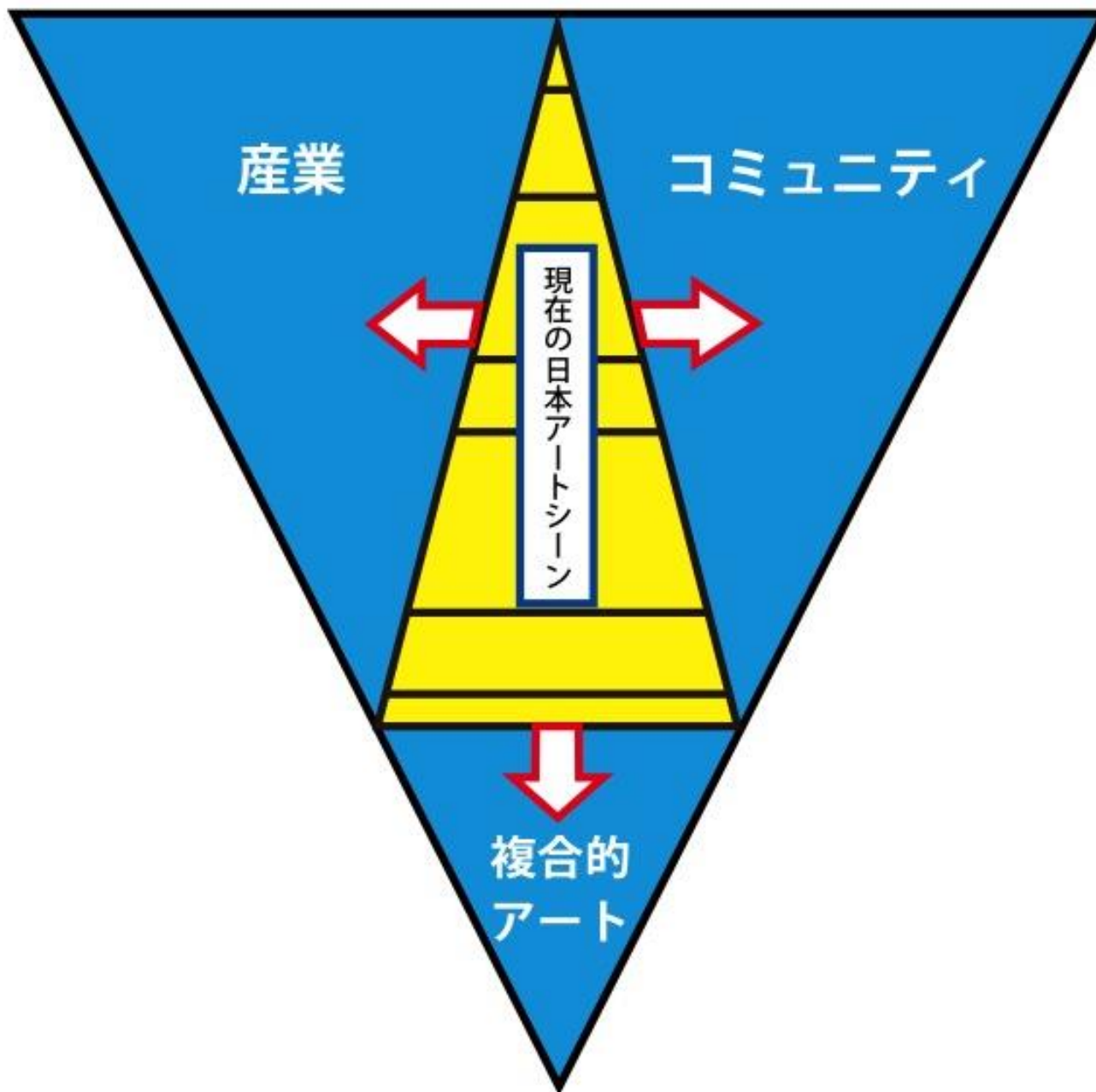
中村政人

アーティスト

東京藝術大学教授

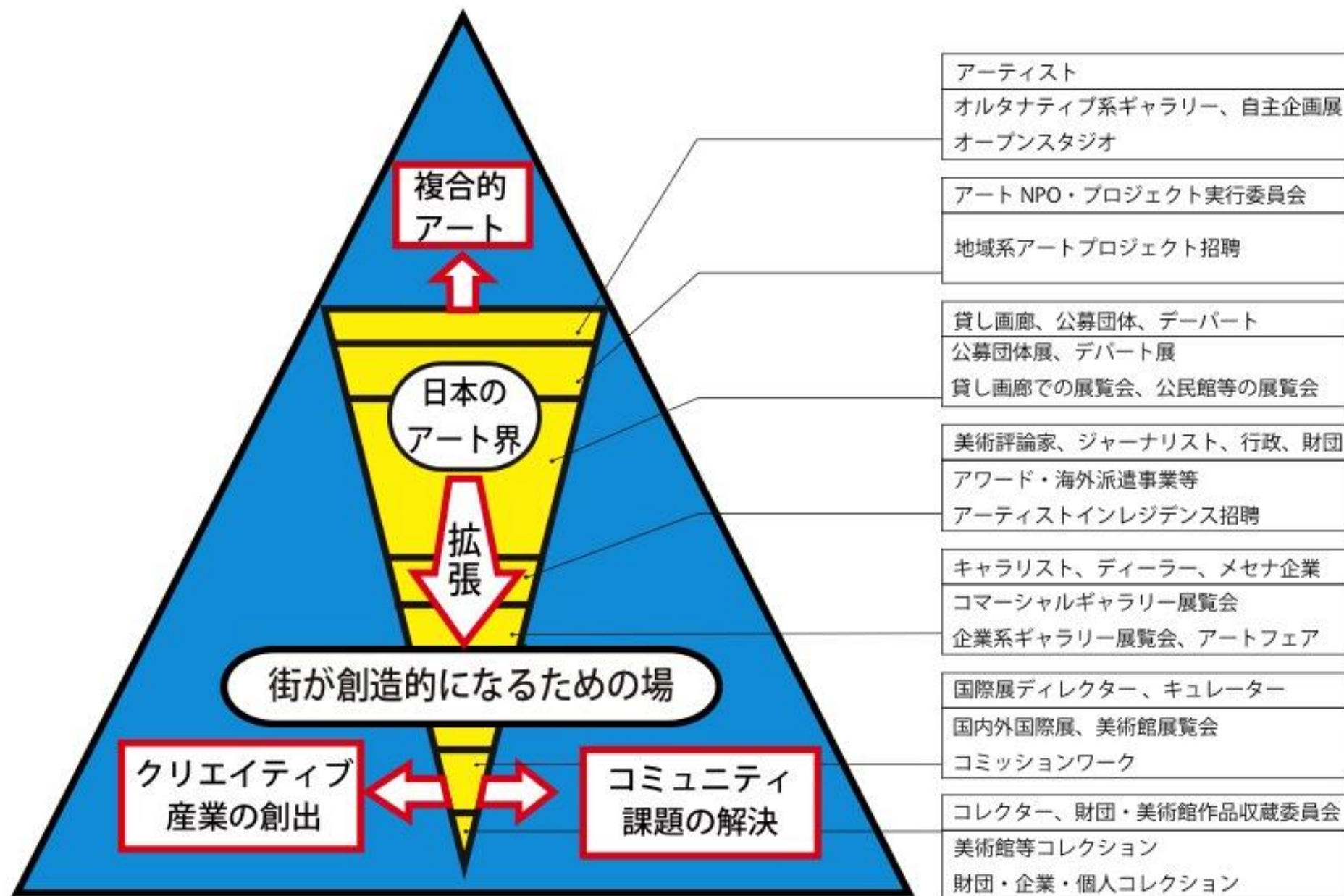
日本アートシーン構造概要





日本のアートシーンを拡張するための基盤構想

文責：中村政人





3331 ARTS CYD

自主財源で 自立的に運営する 民設民営の文化・芸術施設

※資料を無断でコピーや転載することはご遠慮ください。



3331 Arts Chiyoda

※資料を無断でコピーや転載することはご遠慮ください。



※資料を無断でコピーや転載することはご遠慮ください。

3331Arts Chiyoda



Chiyoda city
Junior high school



3331Arts Chiyoda



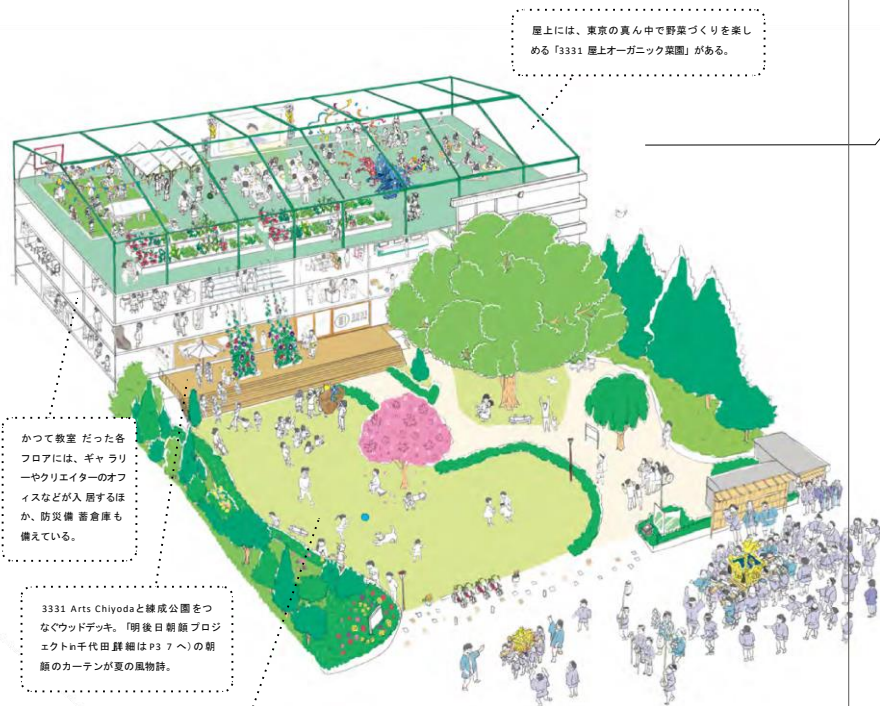
※資料を無断でコピーや転載することとはご遠慮ください。





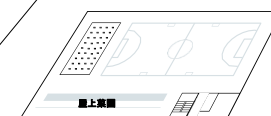
民間主導で
建築改修(ハード)と
事業運営(ソフト)を計画した
公設民営の自主自立型アートセンター

3331 Arts Chiyoda 案内



FLOOR MAP

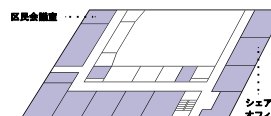
フリースペース
テナントスペース (2020年10月現在)



RF

ROOF TOP
VEGETABLE
GARDEN

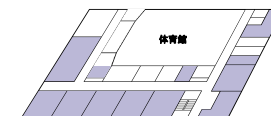
「3331 屋上オーガニック菜園」があるほか、イベントや野外展示が行われることも。



3F

PROJECT SPACE &
CREATIVE OFFICE
FLOOR

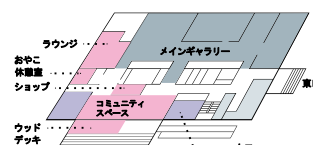
クリエイティブ系オフィスが多く入居し、日々、さまざまな活動が生まれている。



2F

ART GALLERY
FLOOR

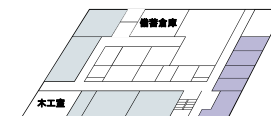
アートギャラリーが多く入居するフロア。展覧、執筆、立休作品、写真など、あらゆる表現に出会える。



1F

MAIN FLOOR

メインギャラリーやショップのほか、来館者が無料で利用できるフリースペースも充実したオープンフロア。



B1F

ART GALLERY
& STUDIO FLOOR

ギャラリーやスタジオを中心としたフロア。ワークショップや講演など、アイデアを共有する活動が行われている。



さまざまな機能を持つ 3331 Arts Chiyodaの空間

地域で暮らす人々の憩いの場所として、千代田から世界へ発信するアーティストやクリエイターの活動拠点として。訪れる人の目的に応じて多面的な顔を持つ3331 Arts Chiyoda。それを象徴するように、館内にはさまざまな機能を持つ空間が存在する。

* のマークが掲載されているスペースはレンタル可能。

誰もが無料で利用できるフリースペース

緑樹密着でのんびり
ウッドデッキ

全長約25mの広々空間
コミュニティスペース



練成公園とつながるウッドデッキ。館の「内」でもなく、外でもないこの空間は「地域に開かれたアートセンター」を象徴する場所。日差しが心地よい日には、階段で遊ぶ子どもたちや、思い思いのんびりくつろぐ人の姿も。

館内でいちばん広いフリースペース。可動式のガラス扉でウッドデッキに面した開放的な空間。近隣で働く人たちや地域の人がランチを楽しみ、夕方には宿題をする子どもの姿も。イベント時には、マーケットやパフォーマンス会場にも早変わり。

バーカウンターも併設
ラウンジ

ママたちの声で生まれた
3331x3ドモノタミ おやこ休憩室か
えるステーション



読書や打ち合わせにも利用できる静かなフリースペース。調理可能なバーカウンターが設置されているため、ケータリングを利用したイベントや懇親会にも利用される。

ママたちが手掛ける「codomono project」とのコラボレーションで誕生した畳敷きの空間。「かえるステーション」を併設しているため、親子でゆっくり過ごせる。

絵本からアートブックまで
3331 COMMUNITY BOOKS

全国のフリーペーパーが読める
3331 FREE PAPER LIBRARY

アートセンターならではのラインナップ
3331 CUBE shop & gallery



地域の人たちや、館内のギャラリー、アーティストやクリエイターなどから寄贈された本や資料が並ぶブックコーナー。フリースペースのため自由に閲覧できる。

日本全国から取り寄せたフリーペーパーが閲覧できるライブラリー。ディープなローカル情報から、独自のテーマを追求したマニアックな一冊まで、幅広いラインナップが揃う。

アーティストやクリエイターを中心にさまざまな表現を集めたショップ&ギャラリー。2020年8月よりギャラリースペースを併設し、スタッフが推薦する気鋭の作家展示を行う。

伝統文化から現代アートまで。
ジャンルレスな展示

メインギャラリー



地域の歴史や文化を学び・伝える展覧会、障害のある人もない人も参加する公募展、アートシーンの第一線で活躍するアーティストの個展など、ジャンルを限定せずあらゆる表現・制作活動を後押しする自主企画を行う。また、企業や文化機関による展示会場としても利用されている。

スポーツから上映会まで。
多目的に活用

体育館



練成中学校時代の面影を残す体育館は、千代田区スポーツ開放の利用施設となっており、中学生以上の区内在住・在勤・在学者の利用が可能。千代田区スポーツ開放利用時間以外、上映会やシンポジウムなど、大型のイベントに利用されている。

文化的活動を
創造・共有・発信

活動・プロジェクトスペース



302 : アーツカウンシルSTUDIO 302 (Photo:Hajime Kato)

201 / 202 : アキバタマビ21

地下1階～3階には、クリエイターのオフィスやアートギャラリー、アーティストのプロジェクトルームが多数入居。アート、デザイン、カルチャーなど、ジャンルを超えた人々が行き交い、多くの活動が同時多発的に生まれる場となっている。

新たな
コミュニティを育む

屋上



かつて運動場だった屋上には、1 坪ずつのレンタル菜園「3331 屋上オーガニック菜園」があり、地域の人々が野菜づくりを楽しむ（詳細はP 55 へ）。また、各地から出店が集うマーケットの開催や屋外展示を行うことも。

クリエイティブハブとして の3331 Arts Chiyoda

3331 Arts Chiyodaは、さまざまな活動やプログラムが生まれる拠点＝クリエイティブハブであり、その活動やプログラムは人と人・地域と地域の複層的な交流を創発するプラットフォームといえる。地域をつなぐ

コミュニティ・アートから、国際交流を担うアーティスト・イン・レジデンスまで、幅広いスケールでプログラムを展開することにより、多様な視点や価値観を育む場を生み出している。



アーティストとの関係性を 深め地域の “つくる”力を解き放つ

地域から世界へと発信するアーティスト主導の展覧会から、地域とアーティストを結ぶアーティスト・イン・レジデンス事業、障害の有無を超えた公募展を通して、人々が本能的に持つ「つくる」力を開放する。

- ・アーティスト主導の展覧会 (P13)
- ・3331 ART FAIR (P17)
- ・ポコラート全国公募 (P21)
- ・AIR 3331 (P25)
- ・3331 GALLERY (P27)

まちの創造力を 引き出し地域因子を 発見・育成する

子どもたちの“新しい学びの場”を創出するプログラムなどを通して、地域の人々が自ら地域特有の文化や価値を発見・育成することを促す。

- ・3331 こども芸術学校 (P31)
- ・かえっこ (P35)
- ・明後日朝顔プロジェクト in 千代田 (P37)



コミュニティやネットワーク を築くことが災害時に 支え合う機能となる

展覧会やワークショップなどのプログラムを通じて生まれる、地域の人々、各地で活動するアーティストやクリエイターとのネットワークやコミュニティは、災害時、支え合う機能へと変換される。

- ・「神田祭」山王祭」特別企画展 (P41)
- ・地域と連携した取り組み (P45)
 - ・神田祭への参加
 - ・五軒町ファミリー会
 - ・福祉まつり
 - ・新春餅つき会
 - ・神田小川町雪だるフェア

さまざまな人が 集ってこそ自立的な 活動が生まれる

多くの人が日常的に集う場であり、より良い社会の仕組みを生み出そうと挑戦するプロジェクトが発表される場でもあることで、活動を広く周知することが可能に。

- ・クリエイティブ・スペース事業 (P51)
- ・3331 屋上オーガニック菜園 (P55)

つくる

アーティスト主導の展覧会やアート
フェア、地域と世界中のアーティスト
を結ぶアーティスト・イン・レ
ジデンス事業、障害のある人・ない人
・アーティストが参加する公募展など
、
「活動 場」つながり」そのものをつ
くり出す。



『池田晶紀 Portrait Project 2012 - 2018「いなせな東京」』会
場内に設置された特設写真館「いなせなロケーション」にて、
来場者のポートレート撮影パフォーマンスを行う池田晶紀氏



池田晶紀 Portrait Project 2012-2018「いなせな東京」
【2018年9月22日（土）～10月14日（日）】
写真家・池田晶紀氏が「神田っ子」をモデルにポートレートを撮影する「池田晶紀ポートレートプロ
ジェクト」。その数は100枚を超える。写真下左から「石田勝彦／千代田区外神田／練成公園／
2013」《熊谷隆雄・田畑秀二・島屋寛／千代田区外神田／神田明神／2012》
《新井美智子／千代田区外神田／アーツ千代田 3331／2013》

自分たちで発表の場をつくり
活動を生み出す

アーティスト主導の 展覧会



メインギャラリーで開催した展覧会
数：41 回

メインギャラリーで個展を行った作
家数：8 名

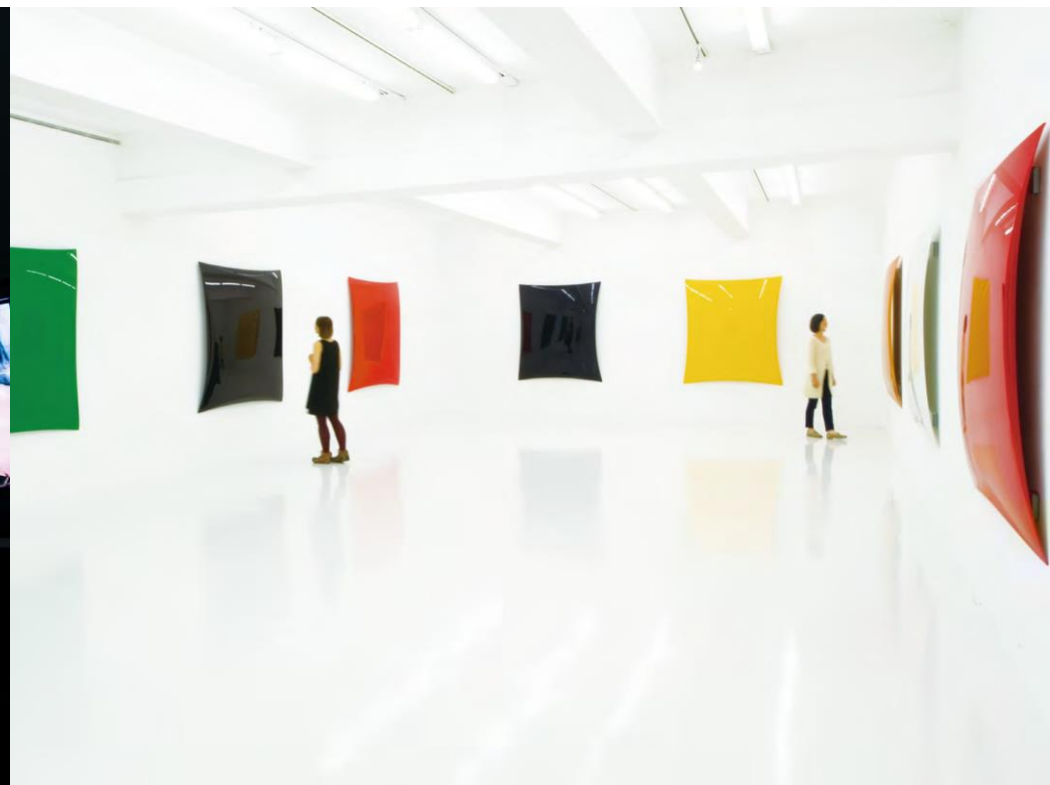
のべ入場者数：41,004 名

(2010 年～2020 年)

* 3331 Arts Chiyoda 主催・共催の展
覧会

* 3331 Arts Chiyoda 主催の展覧会は
千代田区民入場無料





アーティストイニシアティブ・コマンドN 20周年記念展

「新しいページを開け！」 [

2017年10月20日(金)～11月19日(日)]

(主催：一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN、3331 Arts Chiyoda)

東京・秋葉原の電気街一帯で催された展覧会《秋葉原TV》(1999年、2000年、2002年)再現インスタレーション

中村政人個展「明るい絶望」 [

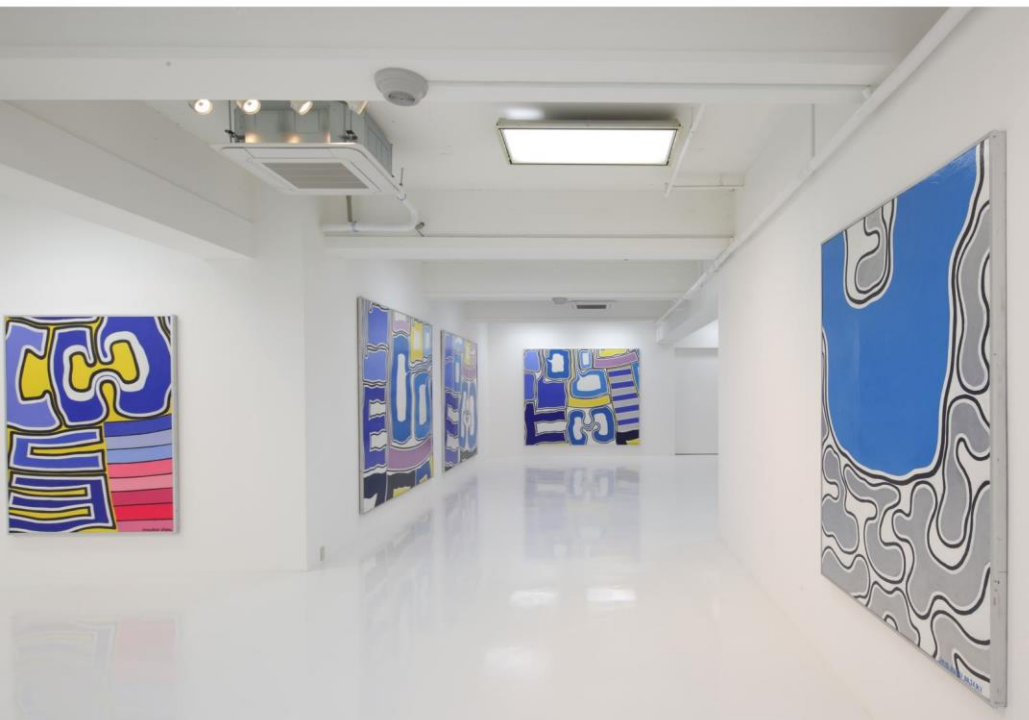
2015年10月10日(土)～11月23日(月・祝)]

(左から)中村政人《Porsche Signal Green》、《TOYOTALEXUSSlightBlackGlassPole》¹⁶、《LamborghiniAventadorAgos

》、《TOYOTACenturyBlueVita》、《HondaNewIndyYellowPearl》、《HondaNewIndyYellowPearl》、

《Rolls-Royce English White》、《Ferrari Rosso Corsa》1994年／2015年

※資料を無断でコピーや転載することとはご遠慮ください。



作家とコレクターが顔を合わせる
オルタナティブなアートフェア

3331 ARTFAIR

「3331 ART FAIR」

開始年：2013 年～

開催日数：3 ～ 16 日間（開催年によって異なる）

これまで参加したアーティスト数：817 名

これまで参加した団体数：114 来

場者数：60,326 名（累計）

入場料：¹⁷1,000 円～2,300 円

* 千代田区民無料



純粹×逸脱×切実。
社会に開かれた“場”を設計する

ポコラート

POCORART

「ポコラート」開始年：2010年～

『ポコラート全国公募』開催数：2011年より9回
(2021年12月現在)

『ポコラート全国公募』応募作品総数：11,490点

『ポコラート全国公募』応募者総数：6,373名

『ポコラート全国公募展』出展作品総数：1,743点

入場料：1,000円～2,300円(一般価格/開催年によって異なる)

)*千代田区民無料



ポコラート世界展「偶然と、必然と、」
[2021年7月16日(金)～9月5日(日)]

※資料を無断でコピーや転載することはご遠慮ください。

これまで41ヶ国、210名が滞在した
アーティスト・イン・レジデンス事業

AIR 3331



(写真左) 1階にある「岩本町スタジオ」はシェアスタジオ。アーティスト同士が交流しながら制作・発表を行う (写真右) マリー・ジュリア・ボランセ「ARTIFICIAL WALK #3」東京・秋葉原でのパフォーマンス [2019年10月19日(土) 14:00~15:30]

「AIR 3331」開始年：2010年～

これまで滞在したアーティスト数：2

10名 (2020年現在)

一度に滞在できるアーティスト数：7

名

均滞在日数：1ヶ月

これまでの最長滞在日数：3ヶ月

滞在費用：210,000～368,000円 (1ヶ月/プランによって異なる)



岩本町スタジオ&レジデンスの外観



制作に集中できる3階のワークスペース



5階ダイニングでは食の異文化交流も



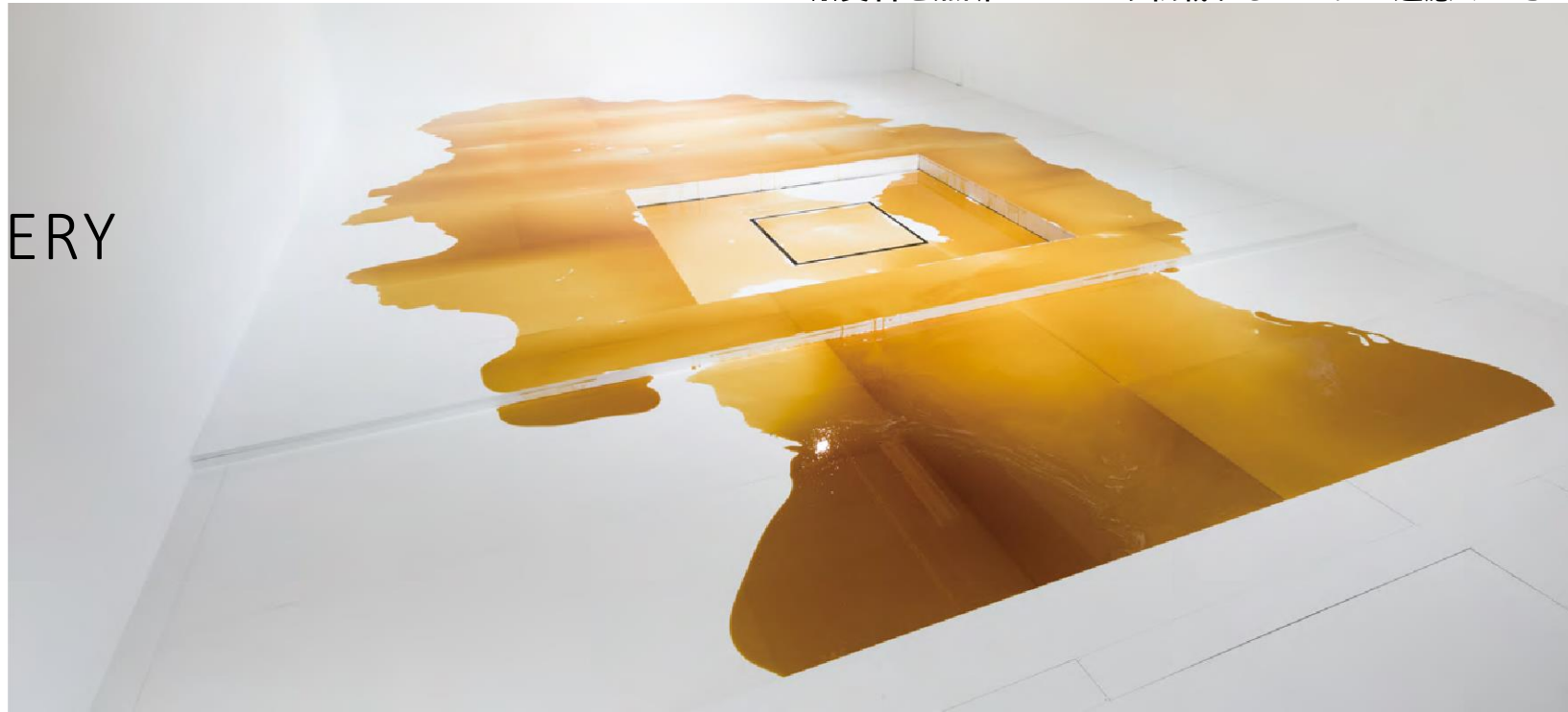
バスルームとランドリールームも完備



日本の文化、畳とコタツは憩いの場にも

若手作家を取り上げ、
活動をバックアップ

3331 GALLERY



(1) 3331 GALLERY #0373331
ART F AIR recommended artists 片岡純
也+岩竹理恵個展「二つの心臓の大きな川」
[2019年5月24日(金)～6月16日(日)]

(23) 3331 GALLERY #0403331
ART F AIR recommended artists 大久保あり
個展「パンに石を入れた17の理由」
[2020年1月5日(日)～1月26日(日)]

(4) リー・ウェン新作展「Birds」
[2017年4月1日(土)～4月23日(日)]

西村雄輔個展「地と対話するために一その行為・生きる場・時間を記憶するもの」[2018年3月1日(木)～9月31日(土)]

西村雄輔《対話するためにI》2018年

「3331 GALLERY」

開始年：2010年²⁷～個展開催頻度：年2～3回

これまでの個展数：42観覧料：無料



片岡純也+岩竹理恵《めくりあう本#2》
2019年



展示の一部「石入りカンバーニュ」



リー・ウェン氏によるライブパフォーマンス

育 む

子どもたちの“新しい学びの場”
を創出するプログラムや、地域一帯
で毎年取り組む「朝寝白新築プロ
ジェクト in 千代田」など、まちの
人々が参加することで、土地に宿る
魅力を自ら発見し、創造力を育む
ことを可能にする。



メインギャラリーで行われた「夏の3331こども芸術学校 & かえっこパザール」
【2015 年8月1日（土）、2日（日）、8日（土）、9日（日）】



「夏の3331こども芸術学校 2019」で行われたワークショップ「わたしの家は、ど
んな家？アーティスト・村上恵と一緒に、過ごす家づくり教室」

専門家ならではのクリエイティブプログラム

3331こども芸術学校



動物美術造形
制作・展示協力：
株式会社プラスト
©EQUATInc.

「3331こども芸術学校」開始年：2015年～

開催時期：7月～8月（2019年、2020年は冬季も実施）

対象：未就学児～高校生（プログラムにより異なる）

各年の平均開催プログラム数：14.6（2020年をのぞく）

参加人数（累計）：2,000名（2015年～2020年）

参加料金：無料～6,000円（教室により異なる）



「内容が本格的、勉強・学びにつながる」とリピーターも多い。
2020年夏季はメインギャラリー全体を会場とし、大きな壁面にベ



佐藤直樹「その後の『そこで生きている。』」

コミッションワーク・アーティスト藤浩志氏のアートプロジェクト
“遊び”から子どもの創造性を誘発

かえっこ



2010年開催「3331 Arts Chiyoda 開館記念展 第1弾『見るまえに跳べ』」／藤浩志「VPC 発 Kaekko 經由 Toys Paradise」より

「かえっこ」とは、3331 Arts Chiyoda のコミッションワーク・アーティストでもある藤浩志氏が2000年に発案した、おもちゃを交換するしくみ。全国1,000ヶ所以上で行われている「かえっこ」に集まったおもちゃで遊べる場所として、館内に「かえるステーション」を設置。「かえっこバザール」を開催するほか、近隣の児童館や小学校で「出張かえっこ」も行い、遊びから子どもの創造性や地域のコミュニケーションを誘発している。

「かえっこ」開始年：2010年～ 対象：こどもの心を持っている人主な参加者層：未就学児～小学生のべ参加人数：10,267名（2015年～2019年）参加料金：無料

常設から地域と連携した出張まで。
さまざまな「かえっこ」

¥ イベント型/
かえっこバザール



体育館やコミュニティスペースで開催する大規模イベント。ワークショップも行われ、参加すると「かえっこ」で使える「かえるポイント」がもらえる。

¥ 3331 に常設/
かえるステーション



無料で利用できる館内の休憩スペース「3331×コドモノタミおやこ休憩室」に常設。こどもたちの遊び場や、地域のお母さんたちの交流の場にも。

¥ 地域の施設へ/
出張かえっこ



区内の施設や町会行事などで「かえっこ」を出張して行う。1年に2施設以上で開催。スタンプや必要な備品を貸し出し、自主開催もサポートする。

主催

3331 Arts Chiyoda

規模

コミュニティスペース（136㎡）での中規模のものから体育館（622㎡）を使用した大規模のもの

スタッフ

10～13名
（3331 Arts Chiyoda スタッフ
& サポートスタッフ）

開催頻度

5～7回
（千代田区4～5回／年平均）

3331 Arts Chiyoda

おやこ休憩室に併設

なし

毎日（休館日以外）

千代田区、市民活動団体、
一般企業など

子ども金など
地域の懂事から大型
イベント施設まで
（運営を行うほか、「かえっこ」
に必要な備品の貸し出しを
行うことも）

3331 Arts Chiyoda スタッフ3～
4名に加え、
児童館職員などがサポート

出張1～2回（年平均）

コミッションワーク・アーティスト日比野克彦氏のアートプロジェクト

10年を経て、地域の恒例行事に

あさってあさがお

明後日朝顔プロジェクトin千代田



3331 Arts Chiyodaのウッドデッキで、最盛期には屋上までツルを伸ばす朝顔

「明後日朝顔プロジェクト」とは、3331 Arts Chiyodaのコミッションワーク・アーティストでもある日比野克彦氏が考案した、朝顔の育成を通して人と人、人と地域、地域と地域が繋がり、社会における芸術の機能性・多様性を試みるプロジェクト。

3331 Arts Chiyodaは東京唯一の拠点として2010年4月より参加。千代田区立昌平小学校の児童と町会の協力を経て、全国約10ヶ所からやってくる朝顔の種を育てている。

日比野克彦氏



「明後日朝顔プロジェクトin千代田」
開始年：2010年～
参加者：千代田区立昌平小学校1年生、
神田五軒町町会、3331 Arts Chiyoda スタッフ、他

「明後日朝顔プロジェクト」の活動内容

地域一帯で取り組む
「明後日朝顔」の1年



5月に神田五軒町町会のみなさんも参加する土づくりにはじまり、昌平小学校1年生との種まき、6月に日比野克彦氏も参加しての苗植え・ロープ張り、水やり。そして10月の収穫祭までが「明後日朝顔プロジェクトin千代田」の1年。毎年、昌平小学校1年生の授業にはプロジェクトへの参加が組み込まれている。



町会のみなさんとのロープ張り



水やりをする昌平小学校の子どもたち

子どもたちが地域の活動を紹介
明後日新聞づくり



2019年には新たな取り組みとして、近隣の小学校児童3名と活動を紹介する「明後日新聞」を制作。「明後日朝顔」に関わる五軒町町会の方への取材から記事作成、レイアウトまでを子どもたちが行い、三者三様の「明後日新聞」が完成した。

地域と地域がつながる
「明後日朝顔全国会議」



全国の「明後日朝顔」参加地域の関係者が一同に集まる1年に一度のイベント「明後日朝顔全国会議」に、3331 Arts Chiyodaも2010年より毎年参加。2016年には「明後日朝顔全国会議」が3331 Arts Chiyodaで開催された。

つな がる 守る

神田祭や山王祭をはじめ、地域に
宿る文化を学ぶ展覧会や、地域活動
を通じ、新しいコミュニティや各地
で活動する人々との関係性が生ま
れる。地域との顔の見えるつながり
は、災害時、互いに支え合い・守る
機能を持つ。



2013年の神田祭。神輿を先導する手古舞をつとめる3331 Arts Chiyodaスタッフ

地域に根付いた文化的背景を読み解く

「神田祭」「山王祭」 特別企画展

る守る・つなが

「神田祭」「山王祭」特別企画展

「神田祭」に関連する特別企画

展開始年：2013 年～（隔年開催）開

催時期：4 月下旬～5 月上旬

のべ来場者数（累計）：6,021 名（2013 年～2019 年）

観覧料：無料（2015 年は有料 * 千代田区民無料）

「山王祭」に関連する特別企画

展開始年：2014 年～（隔年開催）開

催時期：5 月～6 月

のべ来場者数（累計）：4,678 名（2014 年～2018 年）

観覧料：無料（2014 年は有料 * 千代田区民無料）



（写真上）特別企画展「祭礼
図巻にみる江戸の粋『江戸っ
子だってねえ藤田の祭よっ』」
（2013 年 4 月 27 日〔土〕～5
月 19 日〔日〕）では、千代田
区指定有形文化財（絵画）に
認定された「神田明神祭礼図
巻」3 巻全長 49.8m を複製実寸
で展示
（写真下）特別企画展「天
下祭と山王さん ～江戸っ子
は、山車に絵巻に、木遣り唄
～ 2014 年 5 月 25 日〔日〕
～ 6 月 22 日〔日〕」では、狩
野派絵師・河鍋曉斎が描い
た
「御酒所幕（みきしよまく）」を
高性能スキャンし、実物に近
い状態で展示



3331ArtsChiyodaに欠かせない活動

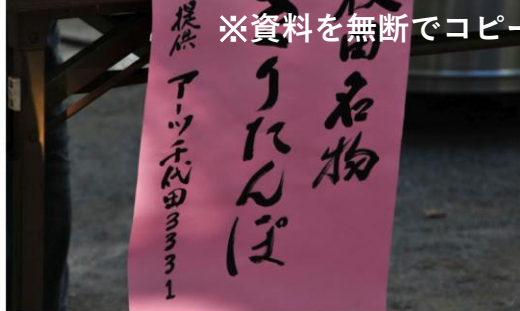
地域と連携した取り組み



45



46



五軒町ファミリー会

毎年秋に開催される神田五軒町会会の行事「五軒町ファミリー会」。33 31 Arts Chiyodaとウッドデッキでつながる緑成公園で開催されるこの行事に、2010 年より参加。設営や当日の運営サポートのほか、統括ディレクター・中村政人の故郷である秋田の郷土料理・きりたんぼ鍋も毎年大人気。



中村ディレクター自らきりたんぼをふるまう

福祉まつり

“ちよだの福祉コミュニティ”を創るべく、千代田区が主催するイベント「福祉まつり」にも、アートセンターならではのプログラムで2003 年より参加。アーティスト・203 gow 氏がアートディレクターと講師をつとめ、毎年編み物ワークショップを開催。完成した作品を「福祉まつり」で発表している。



編み物を通して交流を深めた203 gow 氏と参加者

新春餅つき会

千代田区では年末年始に餅つきを行う町会があることを知り、その風習にない、2012 年12 月にはじまり、2014 年から毎年1 月に3331 Arts Chiyodaのウッドデッキにて開催。開催初年度は、米の蒸し加減に四苦八苦したりと、毎年試行錯誤を重ねながら行っていたが、開催から5 年を経て館内に入居する団体と地域の人々が集う、年始めの恒例行事となりつつある。



地域の人々が新年に顔を合わせる大切な機会に

神田小川町雪だるまフェア

2001 年からスポーツ店の街・神田小川町（小川広場、靖国通り沿い歩道）で毎年開催されている「神田小川町雪だるまフェア」。靖国通りに並ぶ巨大雪だるまづくりに、2015 年から参加している。制作の指揮をとるのは、アーティスト・栗原良彰氏。「雪だるまコンテスト」として投票も行われるこのイベント、ユニークなテーマ選びと作り込みで入賞の常連に。冬の神田を彩る風物詩として、地域の人に親しまれている。



2015



平将門をモチーフにした「武士の始まり・兵（つわもの）」

2016



神田祭をイメージした「楽しみ方イロイロ、楽しい神田」（最優秀賞）

2017



山車の上で雪だるまが楽しげな「神田に冬限定の雪だるま山車！」

2018



あいにくいける秋田犬としてSNSでも大人気の「のの」がモチーフ「雪やのんのん！秋田犬『のの』」（優秀賞）

2019



各元号のスポーツ界のトピックスを採り入れた「さよなら平成、ようこそ新元号」（最優秀賞）

2020



東京オリンピックで野球が注目復活したことになみ「東京五輪・野球勝利の雪だるま！」

集 う

ギャラリー、クリエイターのオフィス
やラボなど、館内には革新的な取
り組みを行う団体が多く入居する。
アート、デザイン、建築、テクノロ
ジー、サービス……etc, ジャンルに限
定されず、ここで多くの活動が生ま
れ、互いに刺激を与える。



練成中学校時代の面影が残る館内の廊下。かつての教室には、
ギャラリーやクリエイターのオフィスが軒を連ねる



B110に入居する「Sagacho archives」は、日本初のオルタナティブ・スペース「佐賀町エキ
ジビット・スペース」(1983年～2000年)のアーカイブをショーケース化している。撮影：神崎宏
樹

さまざまな活動が生まれる場に

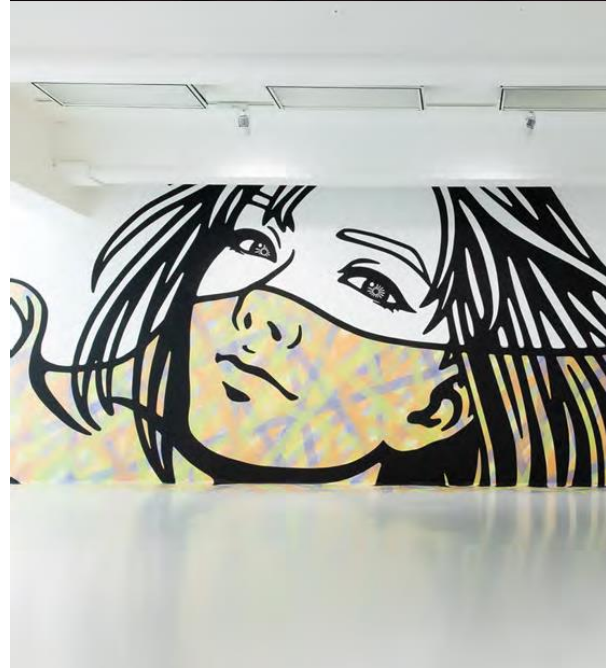
クリエイティブ・ スペース事業

クリエイティブ・スペース事業開始：2010年～
館内の入居テナント数：41団体（2020年10月現在）
館内のテナント稼働率：100％（2020年10月現在）
これまでのレンタル利用件数：7,082件（2010年～
2020年3月時点）
51
レンタル稼働率：64％（2020年3月現在）

※資料を無断でコピーや転載することとはご遠慮ください。



「TEDxKids@Chiyoda 2014」開催（TEDxKids / 2014年11月30日）





※資料を無断でコピーや転載することとはご遠慮ください。



東京の中心で野菜を育てる

3331屋上オーガニック菜園



屋上に32区画ある菜園では、旬の野菜やハーブを栽培できる。専門員による指導や作業補助・道具の貸出・水やりサービスも行っているため、初心者でも育てやすい。月に1度の「活動日」には、利用者同士で交流しながら畑仕事を行う。

利用者の多くは末広町駅から3駅圏内に住む子育て世代。千代田区民は月額利用料金20%割引のサービスも設定している。リピート率も2〜3割と高く、7月と1月に行う「野菜感謝祭」も好評。

「3331 屋上オーガニック菜園」
開始年：2010年8月～
区画数：32（1区画あたり約1坪）
利用料金：初期費用20,000円、月額利用料
7,200円（1区画1名利用の場合）
*1区画最大5名まで利用可能
（追加料金1名につき月額1,030円）利
用者の契約期間：毎年2月中旬～翌年1
月末日（1年間）
稼働率：100%（2020年8月現在）

担当スタッフの ワークフロー

担当スタッフは1名。毎年12～1月の利用
者決定から業務がはじまる。

月に1度の栽培指導や作業補助、週2度
の水やりのほか、種まきの時期には、種
や苗の手配を行う。7月・1月には利用
者による「野菜感謝祭」イベントも開催。

1月に1年の活動が終わると、次の利用
者のため区画を整備する。

利用者の声

初心者にも関わらず多くの
野菜を収穫。さらには
江戸東京野菜作りにも挑
戦し、収穫できました。50代
女性）

自分の畑を持っていること
が精神衛生にとっても良く、
教えていただいたことは一生
の財産になります。40代女
性）

自分の握りこぶしほどの
ラディッシュに大喜びして
いた孫。収穫した野菜は、
ほとんど孫が食べてしまっ
ました！（50代女性）

「野菜感謝祭」では、おい
しい料理とフレンドリーな
雰囲気、たくさんお話で
きて楽しい時間を過ごせま
した。（60代女性）

普段は野菜を食べない子
どもたちが、収穫したラディ
ッシュを喜んで水洗いし、良く
食べてくれたことが印象的
でした。（40代女性）

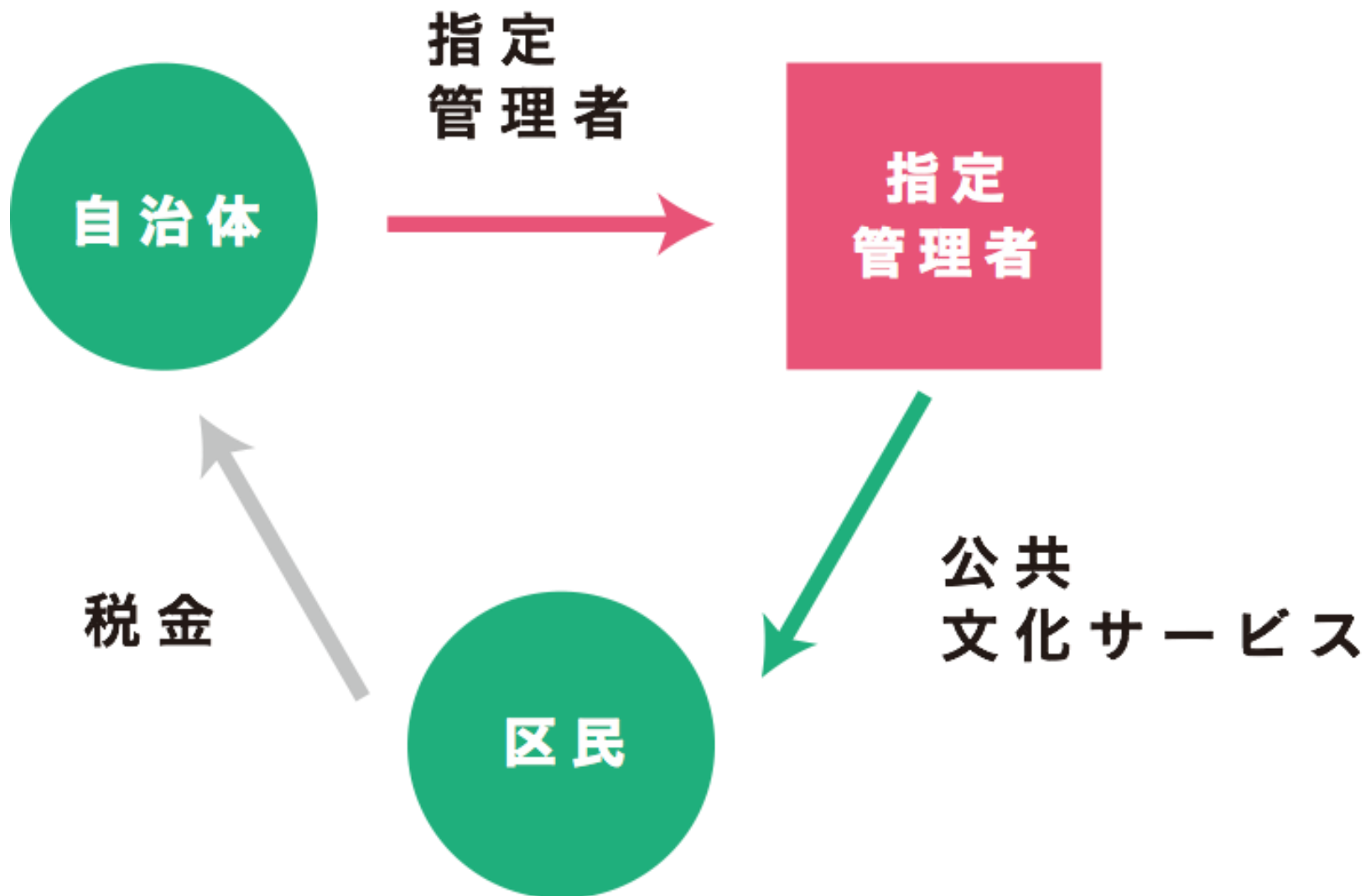
野菜をつくる難しさ、面白さ
がわかり、農家さんへの尊敬の
念を強くしました。収穫した
白菜はスーパーでは買えない
味でした。（40代男性）



（写真左）利用者の多くは子育て世代。食育
や土に触れる機会を求め、利用する人も
（写真右）年2回行われる「野菜感謝祭」
では、収穫した野菜を使った料理を囲みなが
ら、利用者同士のコミュニケーションが生ま
れる

3 3 3 1 モデル

指定管理



3331モデル

アーティスト / 展覧会・イベント来場者 / レンタル・施設利用者
テナント入居者 / 観光客 / 視察 / 地域住民

施設利用

アーツ千代田 3331

評議委員会

評価

委嘱

施設賃貸

千代田区

合同会社
コマンド
A

施設管理
取りまとめ

家賃・税金

家賃
施設使用

アーツ千代田 3331
活動プログラム

〈3331 運営〉

- ・3331 主催イベント
- ・屋上菜園 (展覧会、各種イベント)
- ・SHOP

〈レンタル利用者〉

- ・レンタル利用者
主催イベント

〈テナント〉

- ・入居団体 主催イベント
(展覧会、他)

文化芸術
サービス

区民

税金

施設利用

公と民の魅力を生み出すクオリティコントロール

民の企画力

企画力と熱意を備えたチーム編成：
アーティストイニシアティブによるアイディア提案、検討の場づくり

民の柔軟性

縦割ではない横断的オペレーション：
一人のスタッフが様々なポジションを経験し、各人の立場、役割を意識する。

民の収益力

継続的収入を担保するマネジメント：
民間事業者との連携で収入確保

公のガバナンス

評議委員会の設置と年2回の報告会の開催
年1回の財務監査

公民のバランス

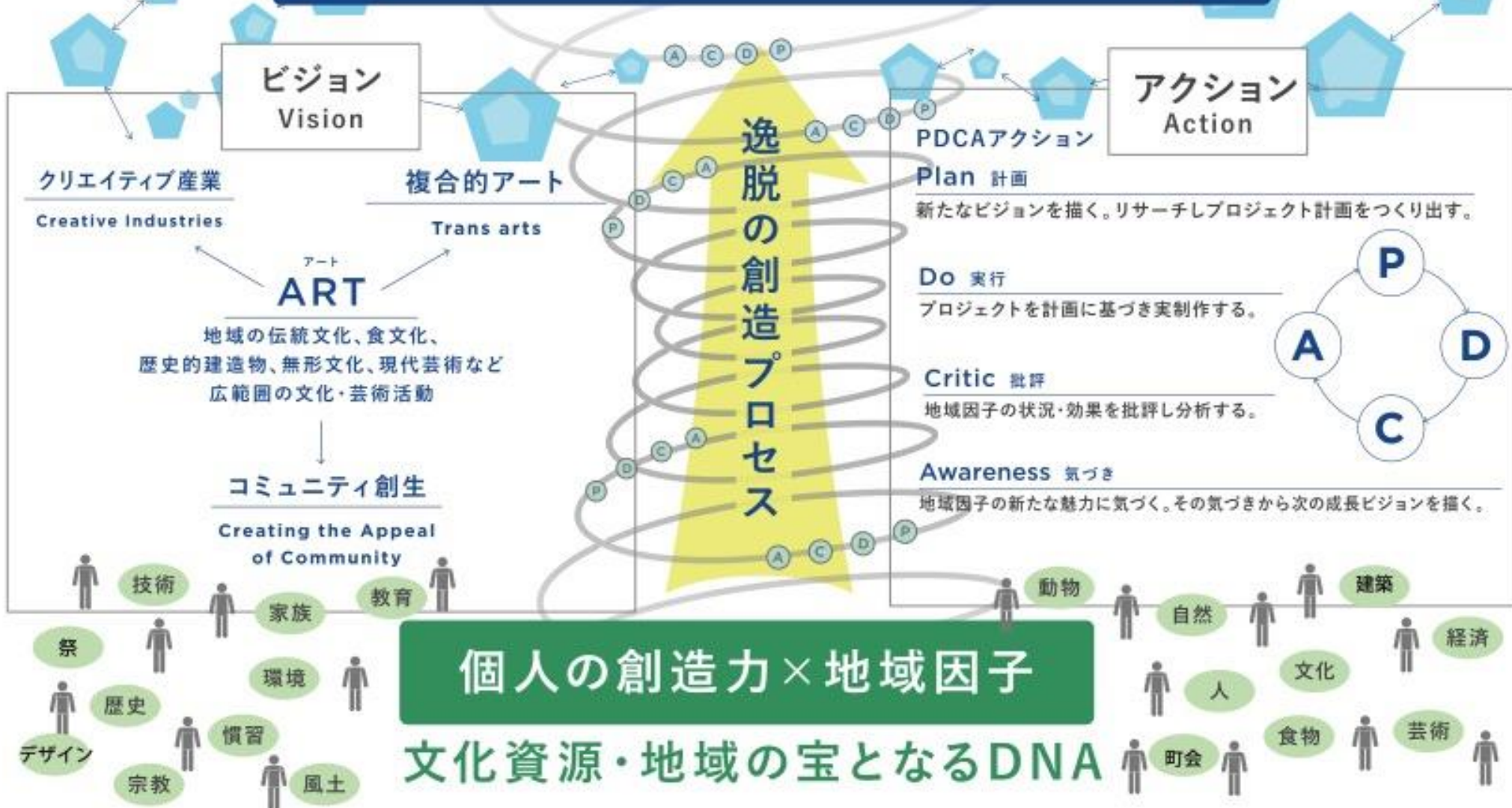
公共性を担保しつつも、自由度を備えたガバナンス：
評議委員会は指示母体ではなく確認認証

自発的で創造的な活動を喚起する

Activating Independent Creativity

持続的な文化・芸術の価値創造

価値形成された地域因子＝都市の創造力





毎年行う開館周年記念イベントでは、3331 Arts Chiyodaを支える方々とともに記念撮影